

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月5日

事業所名 放課後等デイサービス ALOHA

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準以上のスペース確保をし、各エリアを決めて活動を行うように努めています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法令を遵守しております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	階段や段差がありバリアフリーではなく、対象児童もいませんが、手すりや滑り止め等最低限の配慮をしております。	今後も適切に環境を整えて参ります
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		支援前後でのスタッフ間での振り返りを行い、支援方法や対応方法等の再確認・改善を行っております。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果もアンケート以外においても保護者からの助言・提案がある際はスタッフ間で協議をし、可能な限りの対応や工夫・提案等に努めております。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表後、保護者へホームページの拝見依頼の連絡をし、周知しております。	拜見までに繋がらない場合もあるので、LINEでも結果をお伝えし、ホームページのURLも併せて送ってまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		保護者・計画相談員さん・学校の先生等色んな外部の方に来ていただき、ご意見を伺っております。	第三者委員は設けていませんが、引き続き保護者や計画相談員さん、学校の先生等外部の方より、様々なご意見をいただき、業務改善や連携に努めてまいります。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修・外部研修に積極的に参加するよう努めております。	引き続き、積極的に研修参加をしております。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリングや面談において、ニーズの整理や課題を共有し、お子様に合わせた支援計画を作成しております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートやサポートブック、発達検査結果等を活用して実態把握等をさせていただいております。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフのみに限らず、お子様と企画会議を行い、固定化しないよう外出や室内活動を考え、立案しております。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		1か月まとめて活動予定表を作成し、新しい活動や前年度の課題を改善し、工夫しながら導入しております。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動、イベントにより、見る視点や支援方法をスタッフ間で確認・共有・振り返りをしながら支援しております。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様の特性に合わせて個別活動や集団活動での支援を行っております。必要に応じて振り返りを行っております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		社員、パート含めて、スタッフ間で特記や支援内容、情報共有を行い、臨機応変に対応しております。	
	16 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	○		社員、パート含めて、スタッフ間で特記や支援内容、情報共有を行い、臨機応変に対応しております。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動状況や支援の様子をその日のうちにスタッフみんなで記録の作成をしております。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度のモニタリングを行い、お子様の状況や課題、支援の見直し等を行っております(本人・保護者・相談員・デイ)	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		普段中々体験できない活動やお子様の「やりたい」と思った活動の提案・将来を見据えた支援を行っております。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童館が担当者会議やモニタリングに参加しております。可能な時は、現場のスタッフと一緒に参加し、情報共有や他事業所さんとのやり取りをしております。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		計画相談員さんや保護者・学校と一緒に送迎や宿題等の確認をしております。送迎時、連絡帳、電話等でやり取りをし、関係者で連携・共有をするように努めております。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な方が現在利用していません。問い合わせがある際は、計画相談員さんに相談をし、協議いたします。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保育所等訪問で入られている事業所さんや就学前に利用していた園での様子の実態確認・支援内容の共有をさせていただいております。	保護者の許可のもと、今後も積極的に情報共有をさせていただきます。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		保護者の許可を得た上で移行される事業所さんや計画相談員さんへ情報提供をする機会を設けております。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて、相談や研修の参加、連携などをし、より良い支援に努めております。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		近隣の公園、科学館、餅つき、お祭り、兄弟児参加受け入れ等、色んな場面で色んな人と関わる場を設けております。	
27 (地域自立支援)協議会等積極的に参加している		○		自立支援協議会への参加は出来ておりません。開催のお知らせが来た際は積極的に参加をしております。	
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時、LINEや電話等で都度、様子や状況を伝え、必要に応じては課題解決に努めております。		
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○		親子一緒に面談や保護者面談、電話やLINEにて、関わり方や対応方法を一緒に確認し、状況確認を一緒にしております。		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしております。活動で生じる自己負担金は予め活動予定表等でお伝えしております。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話、LINE、連絡帳、来所していただき面談等色んな方法で対応をし、必要に応じた対応をしております。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナも落ち着き、感染症に配慮しながら、定期的に保護者や兄弟児、地域の方の参加を受け、関われる場を作っております。	多くの方に参加していただけるよう、引き続きリクエストを開きながら、関われる場を設けて参ります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情窓口を設け、苦情解決マニュアルを作成し、些細な内容を含めて誠実に傾聴し、苦情解決責任者とスタッフ間で協議をし、迅速かつ適切に対応をするよう努めております。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、活動予定表を作成し、保護者やお子様に文書とLINEで発信しております。	
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報保護の研修を行い、十分注意を払っております。	今後も継続して意識を高めて対応に努めてまいります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭のみならず、文字やイラストの視覚化など特性に合わせて対応をするようにしております。	
非常時等の対応	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		ハロウィンや夏祭り、餅つき、清掃活動等を通して、地域の方との関わりを設けております。	
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成し、状況に応じて再作成をしております。避難訓練前に動きの確認をし、避難訓練後に保護者へ動きの確認連絡をしております。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回以上の避難訓練と定期的に防災センターに行き、訓練や対応方法等の経験を積んでおります。	非常災害が増えているため、福岡西方沖地震や東日本大震災、災害がある節目には、今後も避難訓練をし、過去にこのようなことがあったと伝承し、意識をもった行動を促せるよう訓練をしております。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内で虐待防止の研修を行い、職員間で適切な対応を学び、意識を高めて支援を行っております。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		法人内で身体拘束の研修を行い、職員間でも適切な対応方法を学び、意識を高めて支援を行っております。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時、見学時にアレルギーの有無の確認をし、対応をしております。都度、保護者に確認を取り、最善の対応を行っております。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティングの際に振り返り、共有すると共にヒヤリハットな状況が起きた時は書類作成をし、共有をしております。	